

CASBEE-建築(新築)2014年版
新京都郵便処理施設(仮称)新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.7
Q1 室内環境			0.31					2.7
1 音環境		2.6	0.15		-			2.6
1.1 騒音		3.0	0.40		-			
1.2 遮音		3.0	0.40		-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60		-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40		-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-			
1.3 吸音		1.0	0.20		-			
2 温熱環境		1.7	0.35		-			1.7
2.1 室温制御		1.7	0.50		-			
1 室温		1.0	0.38		-			
2 外皮性能		1.0	0.25		-			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38		-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20		-			
2.3 空調方式		1.0	0.30		-			
3 光・視環境		3.8	0.25		-			3.8
3.1 昼光利用		4.2	0.30		-			
1 屋光率	屋光率:2.78%。	5.0	0.60		-			
2 方位別開口			-		-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40		-			
3.2 グレア対策		3.0	0.30		-			
1 昼光制御		3.0	1.00		-			
3.3 照度		3.0	0.15		-			
3.4 照明制御	複数の照明制御エリアが設定され、リモコンで制御可能。	5.0	0.25		-			
4 空気質環境		3.0	0.25		-			3.0
4.1 発生源対策		3.0	0.50		-			
1 化学汚染物質		3.0	1.00		-			
4.2 換気		3.6	0.30		-			
1 換気量		3.0	0.33		-			
2 自然換気性能	自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上。	4.0	0.33		-			
3 取り入れ外気への配慮	給気口と排気口は6m以上の離隔がとれている。	4.0	0.33		-			
4.3 運用管理		2.0	0.20		-			
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50		-			
2 喫煙の制御		1.0	0.50		-			
Q2 サービス性能			0.30					3.5
1 機能性		2.8	0.40		-			2.8
1.1 機能性・使いやすさ		2.0	0.40		-			
1 広さ・収納性		1.0	0.33		-			
2 高度情報通信設備対応		2.0	0.33		-			
3 バリアフリー計画		3.0	0.33		-			
1.2 心理性・快適性		3.3	0.30		-			
1 広さ感・景観	天井高:2.8m。	4.0	0.33		-			
2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース(執務スペースの1%以上)+自販機置場の確保。	5.0	0.33		-			
3 内装計画		1.0	0.33		-			
1.3 維持管理		3.5	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い仕上材の採用、ガラの防鳥網の設置等	4.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-			
2 耐用性・信頼性		3.7	0.30		-			3.7
2.1 耐震・免震		4.2	0.50		-			
1 耐震性	重要度係数=1.25。	4.0	0.80		-			
2 免震・制振性能	免震構造を導入している。	5.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	耐用年数の長い仕上材の採用。	5.0	0.10		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:塩ビライニング鋼管 排水:硬質塩化ビニル管 冷媒:銅管。	5.0	0.20		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-			

2.4 信頼性			3.0	0.20	-	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			4.2	0.30	-	-	4.2
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	-
1	階高のゆとり	階高 工場用途:6.6m、事務用途:3.3m。	5.0	0.60	-	-	-
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.064。	5.0	0.40	-	-	-
3.2 荷重のゆとり		工場・事務用途共に架構用についても積載荷重の割増を設定。	5.0	0.30	-	-	-
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.39	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.1
1 建物外皮の熱負荷抑制		断熱性能の高い建築材、複層ガラスの採用。	5.0	0.02	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.60 住宅(専有部) -	5.0	0.61	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(3a,3b)		高効率な設備機器の採用。	5.0	1.00	-	-	-
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	-
4 効率的運用			2.5	0.24	-	-	2.5
集合住宅以外の評価			2.5	1.00	-	-	-
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	-
4.2	運用管理体制		2.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		-	-	-	-	-
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		過半に節水器具の採用。	4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル床材:東リ製 フロアリウムマーブル	3.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げの分別が容易な構造(LGS下地)、OAフロアの採用。	5.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		防塵塗料 OAクリアコート(ABC商会)の採用。	4.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	-
1	消火剤		-	-	-	-	-
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、かつGWP<50の断熱材を使用している。	4.0	0.50	-	-	-
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		高効率な設備機器の採用によるCO2の削減。	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3	交通負荷抑制	利便性、渋滞緩和に配慮した駐輪場・駐車場計画。	5.0	0.25	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-	-
2	振動		-	-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	-
1	風害の抑制		3.0	1.00	-	-	-
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	-
3	日照障害の抑制		-	-	-	-	-
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	-
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-